



認知症と物忘れ — 早めに対処を —

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 滉

「物忘れ」・・・これは認知症ではありません

アルツハイマー病のように物忘れから始まる認知症がありますが、「物忘れ」は認知症ではありません。

認知症とは「認知機能」の低下によって生活障害を起こした状態を指します。この「認知機能」の一つとして記憶があり、記憶力の低下が一般には『物忘れ』とされています。

三種類の記憶

記憶は大きく、エピソード記憶、意味記憶、手続き記憶の三つに分かれ、その機能は脳のそれぞれの部位がつかさどっています。

一・エピソード記憶（側頭葉の内側）・・・個人の固有な体験による記憶、例えば昨日の夕食で食べたもの

二・意味記憶（側頭葉の外側）・・・学習によって得た知識

や物と言葉の対応などの記憶

三・手続き記憶（小脳）・・・車を運転したり楽器を演奏するなど、体で覚えたもの

認知症の原因の多くを占めるアルツハイマー病では、まずエピソード障害がみられます。初めのうちは過去の記憶や判断力、計画性などがのこっているので日常生活は自立していることが多く、「軽度認知障害」と呼ばれる段階です。この段階で、MRIを用いて脳の状態をみると、単なる物忘れか認知症の初期かの判断や、認知症であれば進行状態の手がかりが得られます。早めに受診しましょう。

一方、抗うつ薬、抗精神病薬、抗不安薬（睡眠薬）などで認知症に似た状態が引き起こされる場合があります。服薬後の定期的なチェックも大切です。

「最近の記憶が曖昧、直前の記憶が曖昧、直前の記憶を保てない、記憶が5分ともたない」などと身近な人が感じたら、患者さんと一緒にぜひかかりつけの医師を受診してください。



望洋荘 祭り

望洋荘

先月号だけではお伝えしきれ
ませんでしたので、今月も望洋
荘祭の皆さんの様子をお伝えし
ます。





せんしょう苑

ハワイアンズ見学

各ユニットから数名ずつスパリゾートハワイアンズに見学に行きました。今月は東ユニットと西ユニットです。



【せんしょう苑】
星ミチ様

十一月一日
九〇歳
みまや西ユニット

十一月お誕生日の皆さん

編集後記

『せんしょう苑・望洋荘』便り
平成二十七年十月三十一日発行
発行所 いわき市平豊間字合磯三十九番地
社会福祉法人 りんさく福祉会
介護老人福祉施設 望洋荘

地域密着型介護老人福祉施設 せんしょう苑
電話 (0246)55-7373

電話 (0246)38-6331

【望洋荘】

渡邊	芳重	様	十一月二八日	薄磯ユニット	九五歳
岩田	キヨ	様	十一月十二日	豊間ユニット	九四歳
猪狩	芳子	様	十一月二八日	四倉ユニット	九一歳
佐藤	榮子	様	十一月二四日	薄磯ユニット	九〇歳
政井	スツ子	様	十一月一日	薄磯ユニット	八六歳
和田	スミ	様	十一月三日	永崎ユニット	八四歳
田子	スマ子	様	十一月五日	豊間ユニット	八二歳
丹野	モト	様	十一月二〇日	永崎ユニット	八一歳